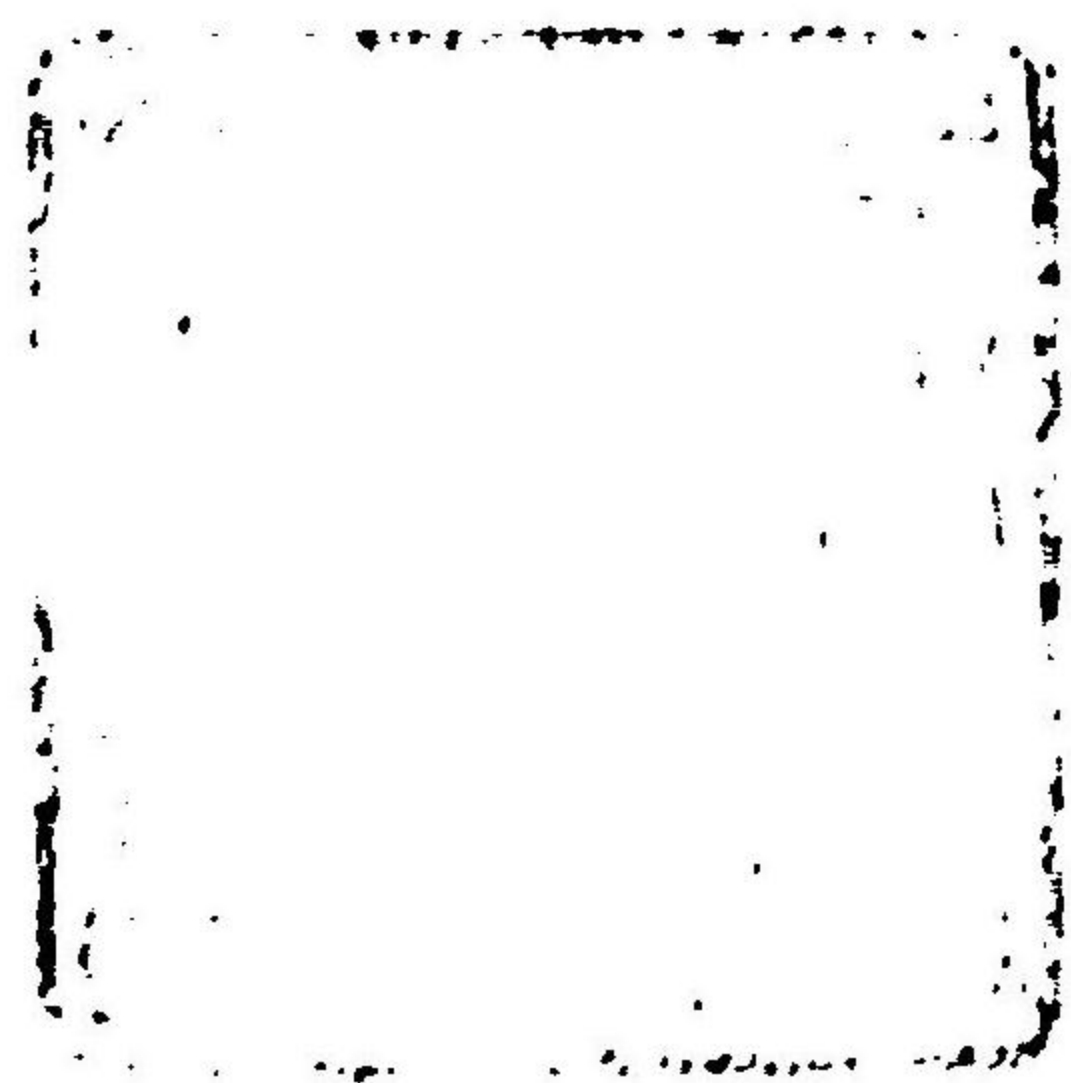


IF N 23

植民地ニ於ケル特殊銀行ニ就テノ研究

(東亞經濟調查局雜誌甲第十一號)

338.69
M494A



植民地ニ於ケル特殊銀行ニ就テノ研究

ナース博士稿

植民地ニ於ケル金融機關トシテノ銀行ハ特殊ノ植民銀行ヲ設立スヘキカ將々又支店制度ヲ取ルニキカ此問題ニ答ヘントセハ先ツ

第一 現今植民地ヲ有スル世界各國カ實際其植民地ニ於テ如何ナル銀行ヲ設立セルカヲ調査セサルハカラス而シテ吾人ノ調査セル所ニ依レハ世界各國何レノ政府ニ於テモ其植民銀行問題ニ對スル態度ハ殆皆同一ニシテ恰モ符節ヲ合シタルカ如キ觀ヲ呈ス即各國ハ植民地ニ普通銀行ノ支店ヲ設置セシムルノ方法ヲ取ラス又海外貿易發達ノ目的ノ爲ニ設立シタル銀行ヲシテ植民地ノ金融事業ヲ兼營セシムルコトナク各植民地毎ニ或ハ地理上經濟上密接ノ關係アル一二ノ連續植民地毎ニ特別ナル植民銀行ヲ設立ス

第二 以上ノ事實ニ對スル學說如何

第三 學說ト事實トノ根柢ヲ爲ス理由如何
ノ研究セサル可ラス

第一 世界各國ニ於ケル植民銀行

二英國 同國ノ植民地ニ於ケル銀行制度ハ其分權的ナルコト恰モ母國ノ制度ノ如シ各植民地ニハ特殊ノ植民發行銀行設置セラレ母國ニ於ケル英蘭銀行(Bank of England)ノ始メ其他ノ諸大銀行ト雖決シテ其手ヲ植民地ニ延スコトナシ由來倫敦ニ於ケル海外銀行及ヒ植民銀行(Foreign and Colonial Bank)ハ余ク他ノ銀行ト相隔絶シテ倫敦銀行界中自ラ別世界ヲ形成セリ而シテ此等ノ海外銀行及ヒ植民銀行ハ概其法律上ノ住所ヲ世界金融ノ中心タル倫敦ニ置クモ其事業ノ中心ハ海外ニ存シ從テ住所ハ英國ニ在リト雖海外ニ關涉ナキ取引ニハ一切干與セサルナリ海外銀行ノ倫敦ニ在ルモノ十九行其有スル支店ノ數ハ總テ百七十五個ニシテ就モ英國及ヒ英領以外ノ世界各地トノ商業ニ資スル所アリ中ニ就テ其東亞ニ關係アルモノハ香港上海銀行(Hongkong and Shanghai Banking Corporation)特許印度濠洲及支那銀行(Chartered Bank of India, Australia and China)等ナリトス海外銀行ノ外ニ三十二個ノ植民銀行アリ其十五個ハ濠洲三個ハ加那陀八個ハ亞弗利加四個ハ東印度二個ハ西印度ニ屬スルモノナルカ其重ナル者ハ皆發行權ヲ有ス而シテ此三十二個ノ銀行中或ハ其法律上ノ住所ヲ倫敦ニ置クモアレハ或ハ又單ニ其支店ノミヲ倫敦ニ設クルモノモアリテ區區一定セスト雖此等銀行ノ有スル支店ハ總テ二千百三十六ニ

シテ就モ英國植民地ノ金融機關タリ以上ノ外加那陀濠洲南亞弗利加及ヒ其他ノ自治制的植民地并ニ東印度等ニハ地方銀行發達シ貯蓄銀行制度郵便貯金制度亦具備セリ英國植民銀行ノ此ノ如ク分權的ナルハ古來ヨリノ風習ニシテ未甚シク該制度ヲ攻撃スルモノナシ而シテ英國ノ間接的勢力範圍地タル埃及ニハ一個ノナシヨナル銀行(National Bank)及ヒ農業銀行(Agricultural Bank)并ニ郵便貯金銀行アリ此等埃及ノ銀行ハ近來菲律賓島銀行制度ノ改革ヲ企ツルニ際シ米國ノ取テ以テ模範トセシ所ナリ

三佛國 ニ於ケル佛蘭西銀行(Banque de France)モ亦其取引ヲ植民地ニ及ホサス而シテ此取引ヲ植民地ニ開始スル事タル曾テ議會ノ問題タラサリシニハアラサルモ常ニ否決セラレタルナリ舊植民地レユニオン、マルティニク、西亞弗利加、グアテマラ、等ニハ既ニ一八四九年ヲ以テ特殊植民銀行ヲ設ケ發行權ヲ與ハ又アルゼンチン、ニハ一八五一年印度支那ニハ一八七五年植民銀行ヲ置キタルカ佛國ニテハ多數ノ小植民地銀行ヲ廢シテ之ニ代フルニ一大中央植民銀行ヲ設立セントスルノ議一八九四年ヨリ一九〇〇年ヲテノ議會ニ於テ論議セラレタルモ未從來ノ制度ヲ改ムルニ至ラス而シテ印度支那銀行ハ漸次其營業區域ヲ擴張シテ暹羅、南清

新嘉坡等佛國ノ勢力範圍地及ヒ通商地ニ至リ尙太平洋中ニ在ル同國ノ小附屬地ニモ及ビリアルゼリールハ地理上最モ本國ニ近キ植民地ニシテ本國ノ一部トシテ統治セララルルモノナレトモ尙別ニアルゼリール銀行ノ存在スルノミナラス一八八〇年ヨリ一八九〇年ニ及リテアルゼリール銀行ト佛蘭西銀行トヲ合併セントスルノ議屢ニ試ミラレタルモ佛國政府及ヒ議會ハ常ニ之ニ反對セリアルゼリール銀行ハ發行權ヲ有シ其營業區域ヲ突尼斯ニ延長セルカ突尼斯ニハ尙他ニ一個ノ私立植民銀行アリアルゼリール亦アルゼリール銀行ノ外一個ノ大ナル不動産抵當銀行及ヒ數多ノ私立銀行ヲ有シ又政府ノ補助ヲ有スル信用組合的貸付銀行及ヒ同貯蓄銀行等數多アリ

唯、例外ナルハマダカスカル島ナリ同島ハ其文化ノ度極メテ低ク其銀行ノ如キモ亦巴里ノ割引銀行(Comptoir d'Escompte)ノ出張所數多アルノミ而カモ之ニ對シテ別ニ特權ヲ與ヘサルハ蓋同島ニハ里昂銀行(Credit Lyonnais)ノ設立セル一ノ私立銀行アルカ故ナリトス此割引銀行ハ日本ノ橫濱正金銀行ト相似タル所アリ佛國ノ植民銀行及ヒ海外銀行ノ數ハ十七個ニシテ其支店ノ數百四個ヲ算シ特殊植民銀行制ヲ形成ス尙此等ノ銀行ト相斡シテ二大佛國銀行ノ二十七支店ノ外國及ヒ植

民地ニ散在スルアリ然レトモ此二大銀行ノ支店ハ決シテ植民銀行ニ代ラントスルモノニアラスシテ兩々相斡シテ存在スルハキモノナリ或點ヨリ見レハ巴里ノ割引銀行(Comptoir d'Escompte)ハ巴里ニ在ル數多小植民銀行ニ對スル中央銀行タルノ觀ナキニアラス

三、和蘭國 和蘭銀行ハ植民地ニ其手ヲ延サス一八二七年瓜哇銀行ハ東印度ニ對スル發行銀行トシテ設立セラレ一八二九年スリナナム銀行ハグイヤナニ對シテ設置セラレタリ瓜哇ニハ前記銀行ノ外向數多ノ和蘭銀行及ヒ英國植民銀行ノ支店アリ和蘭國ノ海外銀行及ヒ植民銀行ハ併セテ十六行其支店總數六十四ナリ

四、獨逸國 同國植民地ノ發達セサリシ間ハ長期間銀行ト云フヘキモノ一モ存在スルコトナク唯々各地所在ノ商店簡單ナル銀行的業務ヲ兼營セシノミ帝國銀行(Reichsbank)ノ支店ハ其數多シト雖未嘗テ指ヲ植民地ノ取引ニ染メタルコトナク一個ノ海外帝國銀行設立ノ計畫ナキニアラサリシモ一八八四年失敗ニ終リ帝國銀行ノシテ其營業ヲ植民地ニ延長セシメントスルノ議亦一八九〇五年ノ帝國議會ニ提出セラレシモ政府及ヒ議會ハ之ニ反對セリ彼ノ最大ナル銀行ノ一ナル獨逸銀行(Deutsche Bank)ハ日本ニ於ケル橫濱正金銀行ノ如ク海外貿易銀行トシテ一八

七〇年設立セラレタルモノナルカ未自己ノ支店ヲ以テ植民地ノ金融ニ當ラシメタルトナシ。同行ハ一八七二年其支店ヲ上海ト横濱ニ設ケタルモ一八七四年之ヲ廢止セリ而シテ海外貿易及ヒ植民經營ノ目的ニ對シテハ右ノ獨逸銀行及ヒ其他ノ諸大銀行出資シテ特別金融機關ヲ海外各地及ヒ植民地ニ設ケタルカ中ニ就テ植民地金融機關ヲ舉クレハ一九〇五年設立ノ獨逸東亞弗利加銀行、一九〇四年設立ノ獨逸西亞弗利加銀行(カメルン、トーゴ)及ヒ一九〇六年設立ノ獨逸亞弗利加銀行、西南亞弗利加等ナリ右ノ西南亞弗利加植民地ニハ國家ノ補助ヲ受クル二三ノ信用組合銀行アリ又膠州灣及ヒ支那ニ對シテハ上海ニ獨逸銀行アリ該行ハ一八九〇年ノ設立ニシテ一九〇六年以來發行權ヲ有ス以上ノ外、海外貿易(例ハ亞米利加及ヒ近東諸國)ノ爲尙、十個ノ銀行アリテ五十ノ支店ヲ有ス。

(五) 奧國　「ボスニア領土」ヲ得テヨリ、一八八三年同地ニ「ヴキーネル、ユニオン銀行 (Wiener Unionsbank)」ノ支店ヲ置キ之ヲ特許銀行トシ中央銀行的職權ヲ與ヘタルカ尙其不充分ナルヲ見テ、一八九五年同地ニ一個ノ特許農業銀行ヲ設ケ降テ一九〇九年ニ至リ匈牙利國亦「ボスニア」ニ特許農商銀行ヲ立ツ此等ノ銀行ハ「ユニオン銀行」ノ支店ト相并立シテ其分業宜ヲ得タリ。

(六) 丁抹國　同國ニハ中央發行銀行モアリ内國銀行ノ制度亦能ク發達セルカ一八八五年ニ至リ、イスラント銀行ナル發行銀行ヲ設立セリ後、西印度領地ヲ米國ニ賣却セントスルノ議、同國議會ニ於テ否決セラレテヨリ、一九〇四年遂ニ此植民地ノ發達ヲ促カンカ爲新ニ郵船航路ヲ開キ又丁抹西印度中央銀行ヲ設立セリ。

(七) 白耳義國　公果國ヲ領シタルト同時ニ一九〇九年白國諸大銀行共同シテ一個ノ特別ナル植民銀行即白耳義公果銀行ヲ立ツ而シテ日本中央銀行ノ模範タリシ白耳義ナシヨナル銀行ハ勿論其他私立ノ大銀行ハ皆手ヲ植民地ニ延スコトナシ。(八) 北米合衆國　同國ニ中央銀行ナルモノノ存セサルコトハ皆人ノ知ル所ナルカ頃日中央銀行ヲ設立セントスル、タフト案ナルモノアリト雖其銀行ノ營業範圍ヲ植民地ニ及ホサントスルノ意ヲ認ムルコト能ハス而シテ同國ノ海外貿易地ニ對スル金融機關トシテハ同國ノ諸大銀行家共同シテ、インターナショナル銀行 (International Banking Corporation) ヲ設ケ支店ヲ東亞、印度、墨西哥、英國等ニ置キ其數總テ十七ナリ菲律賓島ハ西班牙領時代ヨリ一個ノ發行銀行ヲ有シ其外上記ノインターナショナル銀行支店及ヒ英國海外銀行ノ支店アリ而シテ頃者同島ノ銀行及ヒ貨幣制度改革案ナルモノ案出セラレ埃及ノ銀行制度ニ則リ一個ノ中央農業銀行ヲ

立テントスルノ計畫アリ

(九)露國 同國ハ帝國銀行ヲ始メ諸種ノ銀行ノ外、外國貿易及ヒ植民地發達ノ目的ニ向テ數多ノ銀行ヲ有シ芬蘭ニハ全ク別個ノ銀行制度及ヒ貨幣制度行ハル而シテ外國貿易ノ爲ニハ日本ノ橫濱正金銀行ト相似タル外國貿易銀行ナルモノ聖彼得堡ニ在リテ支店ヲ歐露ノ外西部西比利亞及ヒ海外各地ニ設ケ其他聖彼得堡インターナショナル銀行、莫斯科インターナショナル銀行、佛國里昂銀行支店アリ西比利亞ニハ西比利亞商業銀行ヲ置キ其十二支店ヲ設ケ之ト相對立シテ二三ノ露國商業銀行アリ而シテ東亞ニ於ケル露國ノ勢力範圍地ニ對シテハ一八九五年露清銀行ヲ創立シ約五十ノ支店ヲ置キシカ同行ハ日露戰役後、南滿地方ヨリ撤退シ大ニ其營業區域ヲ縮少セシレ近來ハ西比利亞ノ或銀行ト合併スルノ止ムナキニ至レリ露國ハ尙、波斯北方ノ勢力範圍地ニモ一個ノ露國銀行ヲ立テントシ又日露戰役前ニハ韓國ニモ銀行設立ノ計畫アリキ露國ハ從來植民地ノ金融ニ就テハ佛獨兩國ノ資本ノ流入ヲ計リシカ今ハ之ニ加フルニ大ニ英米兩國ノ資本ヲモ動力サント努メツツアリ

(十)日本 一八八〇年外國貿易ノ目的ノ爲ニ橫濱正金銀行ヲ創立シタルコトハ

既ニ世人ノ知ル所而シテ北海道拓植ノ爲ニハ一八九〇年北海道拓植銀行ヲ立テ其資本ノ一部ハ政府之ヲ出シ又其出資ニ對シテハ初期ノ間無利息ナリキ尙、臺灣領有後ハ臺灣銀行ヲ立テ之ニ發行權ヲ與ヘ政府亦幾分ノ出資ヲ爲セリ其他日本ノ勢力範圍地タル韓國ニハ最初第一銀行支店ヲ置キ中央銀行の特權ヲ與ハタルモ之ヲ以テ同國發達ノ爲ニ充分ナラストシ一八九〇年韓國銀行ヲ置キ第一銀行ニ代ラシメタリ之ト同シク關東州及ヒ南滿洲ノ勢力範圍地内ニモ先ツ數多ノ橫濱正金銀行支店ヲ置キ之ニ發行權ヲ與ハタルモ一八九〇年ニ至リ南滿洲ニ於ケル特殊植民銀行設立ノ運動漸ク盛トナレリ

(十一)爾餘ノ諸國 伊太利、葡萄牙、西班牙、土耳其等ノ植民地ハ未、一個ノ特殊銀行ヲ必要トスルコトニ發達セス故ニ植民地ノ金融ハ或ハ同地商會ニ依テ行ハレ或ハ附近ノ外國銀行ニ依ルコト例ハハ南亞弗利加ニテハ同地ニ在ル英國ノ海外銀行ニ依ルカ如シ唯、茲ニ注意スハキハ此等ノ諸國ニ於テモ本國銀行ノ支店ニ依リ植民地ノ金融ヲ掌ルカ如キ子ノ寡聞ナル未曾テ知ラナル所ナリ

第二 植民銀行問題ニ對スル諸方面ノ態度

(一)獨佛議會ノ議論 植民地ヲ有スル諸國中、獨佛兩國ノ議會ニ於テ近時植民銀行

ニ關スル問題ヲ根本的ニ研究セシカ孰モ植民地ノ金融ニ關シ本國銀行ノ支店ヲ以テ經營スル制度ノ不可ニシテ且各植民地ハ各其狀態ヲ異ニスルカ故ニ多數ノ植民地ニ對シ一大中央銀行ヲ設クルノ不得策ナルヲ唱ヘ又外國貿易銀行ヲシテ植民地ノ金融ヲ掌ラシムルノ不當ナルコトヲ說キ植民地ニ對シテハ宜シク一ノ特殊ナル大植民銀行ヲ立ツヘク而シテ植民銀行ハ各植民地毎ニ一行ヲ設クルカ或ハ地理上極メテ相接近セル一二植民地ニ對シテ一行ヲ置クハシト論セリ丁抹國及ヒ埃何國ノ議會亦近年右ト同一ノ見地ニ立ツ方針ニ出ツルニ至レリ

(二)各國大銀行ノ意向 近年植民銀行設立ノ問題ニ對スル各國大銀行側ノ意向如何ト云フニ孰モ植民地ニハ特殊ノ植民銀行ヲ置クニアラサレハ不可ナリト云フニ一致セルカ如シ左レハ獨逸國ノ諸大銀行ハ此趣意ニ依リ植民銀行ノ設立ニ加入シ佛國諸大銀行ノ態度亦相同シ露國植民銀行ノ如キハ獨佛兩國ノ諸大銀行ノ補助ニ依ルコト甚大ニシテ佛國ノ銀行家亦海外銀行及ヒ植民銀行設立論者ナリ自耳義國及ヒ何牙利國モ近時同主義ヲ取リテ活動シ韓國ニ於ケル韓國銀行ノ設立ニ對シテハ第一銀行ノ助力蓋大ナルモノアリキ

(三)獨逸學者ノ言 獨逸植民學書中有名ナル「チンメルマン」氏著植民政策中ニ曰ク
 專門家多數ノ意見ハ一個ノ中央銀行(各植民地及ヒ貿易地ニ共通スル一個ノ銀行)設立論ニ反對ナリ蓋各植民地及ヒ各貿易地ノ事情及ヒ其要求ハ互ニ相異ナレハナリ且各植民地ノ支店長ハ本國ニ在ル中央銀行ニ從屬セサルヘカラサルカ故ニ其結果トシテ種々ノ不都合ヲ生シ易シ例ハ甲ノ植民地ニ對シテハ資金ノ融通ヲ容易ナラシメ乙ノ植民地ニ對シテハ困難ナラシムルカ如キ不都合ヲ生スルカ如シ而シテ其容易ニ過クルト困難ニ過クルトハ其ニ植民地金融上ニ非常ノ惡影響ヲ及ホスモノナリト

(四)乘人ノ所論 米國人「ラインシュ」氏ノ著植民統治制ハ米國諸專門家ノ列國植民政策ニ關スル研究ノ結果ヲ編纂シ以テ米國ノ勢力範圍ニ屬スル各地方ニ對スル政策ニ資セントスルモノニシテ著者ハ各制度ヲ精論シタル後曰ク「植民地統治上、幾多ノ實驗ニ徵スルニ植民地ノ信用及ヒ銀行制度ハ特殊ノ制度ナラサルハカラサルヲ明ニ吾人ニ示スモノナリト蓋著者ノ意ハ植民銀行ト本國銀行トノ混合ハ不可ナリ又一個ノ植民地ニ數多ノ小地方銀行ノ對立スルモ不可ナリ宜シク植民地毎ニ一大特殊植民銀行ヲ設ケ其支店ヲ同植民地ノ各地ニ配置スハシト云フニ在リ

第三 特殊植民銀行必要ノ理由

何故ニ列國ノ立法家、實業家、銀行家及ヒ經濟學者カ恰モ符節ヲ合シタルカ如ク特殊植民銀行ノ設立ヲ要求シ以テ其他ノ種類ニ屬スル銀行ヲ排斥スルヤ是吾人ノ今研究セントスル所ナリ而シテ其理由タル之ヲ二大別スレハ其一ハ植民地ニ於ケル銀行組織ハ他ノ銀行ト異リ一種特別ナルコトヲ要スルヲ以テ特殊植民銀行ニ依テ始メテ其目的ニ適合スルコトヲ得ルカ故ニシテ其二ハ植民地ニテハ其銀行ノ取引スル周圍ノ經濟狀態モ一種特別ニシテ本國銀行ノ當ルヘカラサル所ノモノアルカ故ナリ今左ニ諸種ノ點ヨリ植民銀行ノ利害得失ヲ研究セントス

(一) 政府ト植民銀行トノ關係 植民銀行モ亦實業社會ノ經濟的機關タルハ内地銀行ト異ナラスト雖植民銀行ハ獨リ經濟的機關タルニ止マラスシテ又實ニ緊要ナル政治的補助機關ナリ故ニ孰ノ國ニ於テモ内地ニ於テ銀行自由主義ノ行ハルル國ニ於テサシ(一) 國家ハ植民銀行ノ設立及ヒ管理ニ對シテ干涉セサルハナシ先ツ植民銀行設立ノ場合ニ際スル國家ノ關係ニ就テ云ハハ植民銀行ノ設立ニ方リ内地及ヒ植民地ニ於ケル資本案ノ資本ノミニテハ尙不十分ナルコトアルハク又諸種ノ危險ヲ恐レテ出資ヲ躊躇スル資本案モアルヘシ斯ル場合ニ政府カ其資本ノ大

部分ヲ引受クルカ如シ而シテ其引受ノ方法ハ固ヨリ一樣ナラス或ハ配當ヲ受クルノ權利ヲ犧牲トスルモ自ラ其資本ノ一部ヲ直接ニ出スコトアリ或ハ銀行ノ爲有利ナル條件ヲ以テ貸付クルコトアリ或ハ銀行ノ營業ニ關シ又ハ發行權ニ關シ特權ノ與ソルコトアリ或ハ利子及ヒ配當ノ保證ヲ爲シ又ハ間接ニ内地ノ諸大銀行ヲ動シテ植民銀行ノ設立ヲ助ケシムルコトモアルナリ

此ノ如ク政府ハ植民銀行ノ設立ニ關シテ補助ヲ與フルカ故ニ該銀行ノ管理ニ關シテモ干涉ス即或ハ植民銀行ノ定款ノ作成及ヒ其變更ニ干涉シ又或ハ法律及ヒ定款ヲ以テ其營業範圍ヲ規定スルコトアリ例ハ佛國植民銀行カ自ラ船舶及ヒ商品ノ賣買ヲ爲スコトヲ得サルカ如シ蓋此事タル爾除ノ諸國ニ於テモ銀行ノ定款ニ依テ其賣買ヲ爲サシメサルナリ又土地、建物、船舶等ノ抵當ニ對シテ貸付ヲ爲スヲ禁スルコトモ稀ナラス其他政府ハ植民銀行ニ對シテ某事項ヲ營ムヘシト指定スルコトアリ例ハ國家及ヒ市町村ノ金錢出納ヲ取扱ハシムルカ如シ獨領東亞弗利加ニテハ同植民地總督ハ自己ノ必要ト認ムル場所ニ植民銀行ノ支店ヲ設置セシムルノ權ヲ有ス又往々ニシテ植民銀行ノ總裁ヲ政府ニ於テ任命スルモノアリ(佛國)或ハ政府ニ於テ單ニ總裁ノ選舉ヲ認可シ(獨國)或ハ植民地勤務ノ官吏ヲ

銀行ノ取締役又ハ監査役中ニ加フル國アリ(佛國、和蘭其以外ノ役員ノ任命ニ關シテハ概政府ニ依テ任命セラレ又ハ認可セラレタル總裁ニ一任セラルルモノトス) 國家ノ監督ヲシテ最モ有效ナラシメ又植民地ノ利益ヲシテ一層大ナラシメントセハ當該植民官廳ヲシテ銀行ヲ監督セシムルニアリ而シテ此銀行ハ成ルヘク當該官廳ノ管轄區域内ニ在リテ手ヲ經濟的狀態ノ相異ル他ノ植民地ニ延ハサシメサルニ於テ監督最モ有效ナリトス

三、植民地實業家ト銀行トノ關係 植民銀行ノ效果ヲシテ著大ナラシメントセハ其銀行ハ植民地ノ住民及ヒ其實業家ト密接ノ關係ヲ保ツコト又極メテ必要ナリ而シテ植民地ノ主要ナル商店及ヒ起業家カ其銀行ノ株式ヲ引受ケ其銀行役員ノ選舉及ヒ總會ノ決議ニ與リ又取締役及ヒ監査役トナリテ效果ヲ擧ケントセハ植民銀行ノ營業區域ハ其實業家ト關係アル一定ノ地域ニ制限セサルヘカラス例ハ獨領東亞弗利加銀行、獨領西亞弗利加銀行ノ重ナル株主ハ該植民地ノ獨逸大商店ニシテ佛國ノ砂糖產地タル植民地ニ於ケル植民銀行ノ重ナル株主ハ該植民地ノ農業家及ヒ製糖業者等ナルカ如シ此クノ如クニシテ該銀行ノ株主ハ該植民地ノ進歩ヲ希望スルト同時ニ銀行ノ繁榮ヲ計ルヲ以テ植民地ノ爲及ヒ銀行ノ爲一

舉兩得ノ策ナリト云フヘシ此兩得ノ效果ヲ收メントセハ經濟的狀態ノ相同シキ一個ノ植民地ニ一個ノ特別ナル植民銀行ヲ設ケサルヘカラス若之ニ反シテ經濟的狀態ノ相同シカラサル數多ノ植民地ニ跨ル大銀行ヲ設クルニ於テハ直接ニ銀行業務ニ關係セサル者ハ真ノ銀行狀態ヲ窺ヒ知ルコト能ハサルハシ

三、活動ノ自由ト臨機應變 何故ニ特別ナル植民銀行ノ設置ヲ可トシ何故ニ本國銀行ノ支店ヲシテ金融機關タラシムルヲ不可ナリトスルカ之ヲ經驗ニ徵スルニ植民地ノ如キ經濟的狀態ノ尙幼稚ナル場合ニハ其銀行ノ營業振リモ亦不變不動ノ規則ノ下ニ束縛スルコト難ク本國ニ比シテ臨機應變ノ處置ヲ取り或取引ハ開クヘキカ或取引ハ爲ササルヘキカヲ決定セサル可ラサル場合多カラシテ此決定タル之ヲ責任アル當局者ニ待タサル可ラサルモノニシテ又其當局者ハ銀行支店長タルモノコリモ總裁ノ位置ニ在ル人ニ依ルヲ可ナリトス然ルニ支店長ハ當ニ本店ノ訓令ニ從フコトヲ要シ從テ遠隔ノ地ニ居住スル重役ノ承認ヲ受ケサルヘカラサルモ雲烟隔絶ノ地ニ在ル本店重役ハ躬ヲ植民地ニ在リテ事ニ當ル役員ニ比シテ植民地ノ實際經濟狀態ニ通曉セズ故ニ植民地ノ爲ニモ又銀行ノ爲ニモ其ニ有益ナル取引ヲ爲サントスル場合ニ際シハ事情ニ通セサル爲ニハ利害

關係ノ大ナラサル爲遂ニ其取引ヲ拒絶スルコトアリ一八九四年ノ佛國議會ニ各植民地ニ散在スル數多ノ小植民銀行ヲ廢シテ一大統括的銀行ヲ巴里ニ設ケントスルノ議提出セラレタルコトアリシカ政府ハ之ニ反對シテ曰ク此ノ如キ一大統括的銀行ハ各事情ヲ異ニスル各植民地ノ信用需用狀態ヲ正當ニ判斷スルコト能ハサラン從テ與フハカラサルモノニ過大ノ信用ヲ與ヘ以テ銀行ノ損失ヲ招キ或ハ與ハサルハカラサルモノニ與フルコト過小ニシテ爲ニ植民地ノ不利ヲ來スカ如キコトアラント之ト同一ノ見解ハ獨米兩國ニ於テモ亦同ク存スル所ナリ

(四)管理ノ統一 活動ノ自由ト相關連シテ管理ノ統一ノ必要ニ就テ述ブレハ管理ノ統一ナルモノハ特殊植民銀行ノ責任アル重役ニ依テ始メテ克ク達成シ得ヘキナリ由來銀行業務ナルモノハ其處理ノ迅速ニシテ且獨立的ナルコト極メテ必要ニシテ殊ニ植民銀行ニ於テ一層然ル所以ノモノアリ若植民地ノ金融機關ニ支店制度ヲ取ランカ活動ノ自由ハ本國ト植民地ノ支店トノ間ニ妨害セラルルノミナラス植民地内ニ於テモ亦二重ノ障害ヲ受クルノ弊アリ何トナレハ植民地内ニ於テ又其重要ナル各都市ニ數多ノ支店出張所等ヲ設置セサルハカラサルハナリ植民地内ニ支店ヲ設置スル方法ニ二種アリ其一ハ一個ノ主支店ヲ植民地内重要ノ

都市ニ置キ主支店ノ下更ニ幾多ノ小支店ヲ植民地内ノ各都邑ニ配置スルモノニシテ其二ハ植民地内ノ各支店ヲ一切同等ノ地位ニ置キ直接本國ニ在ル本店ノ管理ノ下ニ屬セシムルモノ是ナリトス先ツ前者ノ場合ニ就テ云ハハ植民地ノ某小支店カ一ノ取引ヲ爲サントセハ植民地ノ主支店ヲ經由シテ本國本店ノ決裁ヲ待タサルハカラサルカ故ニ二重ノ手續ヲ要シ從テ取引ノ迅速ヲ期スルコト極メテ困難ナルハシ然ラハ後者ノ場合ハ如何ト云フニ此場合ニ於テハ植民地ニ於ケル各支店ノ間ノ統一ハ得テ望ムハカラス是實ニ特殊銀行ノ必要アル所以ニシテ特殊銀行ニ依テ始メテ該銀行ハ本國ト關係ナク其活動自由ナルコトヲ得能ク植民地ノ事情ニ適合スル處置ヲ爲スコトヲ得ハシ又植民地内ニ於ケル各支店トノ關係ハ二者直接ノ關係ニ止リ其交渉モ迅速ナルノミナラス支店所在地ト本店所在地トハ同一植民地内ニアリ地理上相距ルコト遠カラス經濟上ノ狀態亦相類似シ事務ノ進行良好ニシテ統一ノ實始メテ舉ルハシ

(五)用意ノ程度 植民地ノ經濟的狀態ハ母國ニ比シ幼稚ナルヲ常トス而シテ植民地ノ取引ハ左シテ鉅額ナルモノニ非ス又極メテ安全ナリト云フヲ得サルカ故ニ植民地ノ銀行ヲ以テ母國ノ銀行ト相融合セシメ或ハ發達程度ノ相異ル他ノ植民

地ノ銀行ト相合同セシムルハ甚望マシキコトニアラサルナリ何レノ母國銀行モ自己ノ株主ノ利害ヲ顧慮シ寧ロ安全ニシテ收入多キ方面ノ取引ヲ先ニシ幼稚ナル植民地ノ取引ハ自ラ等閑ニ附セラルルヲ常トス然レトモ幼稚ナル植民地ノ取引ハ其收入少キニ反シ當局者ハ一層周到ノ注意ヲ要シ且躬ラ其地ニ在リテ日常直接事ニ當ルニ非スンハ植民地ノ取引ハ全ク絶望ナリト云フヘシ以上ノ理由ニ依リ世界各國殆皆海外貿易銀行ニ託スルニ植民銀行ノ職務ヲ以テスルヲ避ケサルハナシ海外貿易銀行ト植民銀行トハ既ニ其名稱ニ於テ二者職務ノ相異ルヲ示ス英國ニテハ Foreign Banks ト Colonial Banks トノ區別ヲ明ニシ獨逸ニテハ Nebenbanken ト Kolonialbanken トヲ區別シ佛語ニテハ Banque Coloniale ナル語ハ單ニ植民地ノ特殊ノ發行銀行ニノミ適用ス今若或大銀行アリテ一個ノ支店ヲ經濟上非常ニ進歩セル世界貿易ノ中心ニ置キ他ノ一個ヲ發達尙幼稚ナル植民地ニ置キタリトセンカ此場合ニ於テ其役員中ノ最敬腕家ヲ植民地ニ在勤セシメ又植民地ノ營業狀態ニ適合セシモンカ爲銀行元來ノ營業原則ヲ變更センコト蓋困難ナルヘシ然レトモ或植民地ニ既ニ特殊植民銀行ノ存スルアリテ唯ミ之ト相并ンテ海外貿易銀行ノ支店ヲモ開設シ佛國英國和蘭及ヒ米國以テ普通ノ銀行營業ヲ爲サシム

ルハ何等ノ支障ナカルヘシ同一地方ニ數種ノ銀行并立スルハ其地ノ金融上ヨリ見テ以テ其競争ヨリ生スル弊害ヨリモ相互ノ補助ニ基ク利益一層大ナリトス六銀行利子及ヒ積立金 植民地ニ於ケル營業ハ其性質ニ於テ既ニ母國ノ營業ト相異リ安全ノ程度亦同一ナラサルカ故ニ銀行利子ハ高率トナリ利益處分法亦相異ラサルヲ得ス準備金積立ノ速度ハ一層迅速ナルヘク特別積立金ノ額ハ大ナルヲ要ス是實ニ植民地ノ不作地震其他ノ天變地異ニ備ヘ又植民地保險制度ノ不備資本ノ缺乏其他ノ危險ニ備ヘンカ爲ナリ故ニ三千六百萬フランノ資本ヲ擁スル印度支那銀行ハ二千四百萬フランノ準備金ヲ有シ又法定準備金ノ外ニ填補準備積立金不動產減價準備金支店準備金動產減價準備金等ヲ積立テ置クナリ又二三ノ植民銀行(佛國)ノ如キハ自己ノ株式資本ヲ取引ニ使用セシテ安全ナル有價證券ニ投ス即此種ノ銀行ニテハ株式資本ヲ以テ運用資本ト爲サス保證資本トナスモノナリ尙未拂込ノ債權ヲ貸借對照表ニ掲クルニ際シテハ其價格ヲ減少スルカ如キ極メテ慎重ノ態度ヲ取ラサルヘカラサル規定ヲ設ク是獨リ佛國ニ止ラス他ノ諸國ニ於テモ實施スル所ナリ總テ此等ノ豫防策ハ一個ノ植民地ニ特殊ノ植民銀行ヲ設クルニ於テ最モ能ク實現セララルモノニシテ而シテ其母國銀行ニ不適

當ナル所以、母國銀行ハ植民銀行トハ別個ノ營業主義ヲ取ラサルヘカラサレハナリ

(七)貯金及ヒ銀行券流通ノ狀態 吾人ノ經驗ニ徴スルニ植民地ノ貯金或ハ預金ヲ誘引スル信用ノ程度ニ就テハ植民地主着銀行ハ母國銀行ニ比シ優越ニシテ銀行券流通ノ狀態亦後者ニ比シ良好ナルカ如シ殊ニ植民地ノ言語ノ異同、貨幣ノ差異又ハ土人ノ世界ノ事情ニ通セサルカ如キ場合ニ於テ一層然リトス其實例ヲ舉クレハアルゼリー銀行ノ銀行券ハ其券面ノ文字亞刺比亞語ナルト其券ノ性質地方的ナルトニ由リ、パリーリ、額面ニテ流通スルニ反シ佛國銀行ノ銀行券ハ、ジスアギシ、(割引)ノ狀態ニ在ルカ如シ之ト同一ノ例ハ獨領東亞弗利加銀行ノ、ルビー券、獨亞銀行ノ支那銀行券、印度支那銀行券等ニモ見ル所ナリ

(八)銀行ノ位置 茲ニ贊否相半スルノ問題ハ植民銀行ノ位置ニ關スル問題ナリ即植民銀行ノ本店ヲ母國ニ置キ其支店ヲ植民地ニ設クハキカ或ハ之ニ反シテ本店ヲ植民地ニ置キ一個ノ支店ヲ母國ニ設ケ以テ母國ノ金融界ト連絡ヲ保タシムハキカノ問題はナリ今外國ノ例ヲ見ルニ本店ヲ倫敦、巴里、伯林、漢堡等ニ置クモノアルハ之ニ依テ母國ヨリ絶ヘス資金ヲ植民地ニ融通シ以テ成ルハク母國、植民地間

ノ國際支拂ノ均衡ヲ保タシムルト同時ニ植民銀行ノ業務ヲシテ植民地實業家ノ偏頗ナル影響ヨリ免レンシメンカ爲ニシテ又往々植民銀行設立ニ關係セル母國ノ大銀行重役ヲシテ植民銀行ノ重役ヲ兼テシメ以テ植民銀行ノ監督ヲ容易ニセントスルノ意ニ出ルモノアリ之ニ反シテ植民地ニ本店ヲ置クノ說アル所以ハ若本店ニシテ植民地ニ在ラハ同地ノ經濟的狀態ヨリ取引人ノ身上關係ニ至ルマテ然知スルヲ得ヘク且全能力ヲ植民地ノ取引ニ注クコトヲ得ルト爲スニ因ル二者共ニ一理ナキニアラス然レトモ下ノ如キ場合ニハ本店ヲ植民地ニ置クヲ以テ優レリトス即植民銀行ノ設立ニ與リタル諸銀行ニ對シ又其銀行ノ監査役ニ對シ願慮スルノ必要ナク且資金ヲ絶ヘス母國ヨリ吸收スルノ要ナキトキハ母國ノ首府ニ植民銀行ノ本店ヲ置クヘキ必要ノ度ヲ減シ又植民銀行カ自己ヲ有效ニ代表セシムヘキ銀行ヲ母國ニ置クトキハ本店ハ寧ロ植民地ニ置クヲ以テ優レリトス夫然リ然リト雖吾人ノ見解ハ此等形式的ノ議論ハ重要視スルニ足ラズシテ寧ロ實際上ノ營業及ヒ管理ノ中心點ヲ植民地ニ置キ又其支配人ノ如キモ全權ヲ委任セラレ且植民地ニ最モ適當ニシテ又責任アルモノタルヘキコト等總テ植民地ノ營業所ヲ以テ銀行全體ノ營業ノ精神ヲ支配セシムレハ可ナリト信ス營業ノ中心點

ヲ植民地ニ置カンカ爲佛國ニテハ植民銀行本店ハ母國ニ在ルモ決シテ其自由行動ヲ以テ取引スヘカラスト法律ヲ以テ規定シ英國ニテハ別ニ法律ノ規定ナキモ從來ノ營業習慣ニ於テ然リトス又獨逸ニテハ植民銀行ノ設立ニ與リタル母國ノ諸銀行ニ對シ願慮スル所アル爲妄リニ内地取引ヲ爲サス其他ノ諸國ニ於テモ營業ノ實際ヲ見ルニ皆然ラサルハナシ更ニ外國ノ實例ヲ見ルニ英獨兩國ト佛和兩國トハ全ク反對セリ即英獨兩國共ニ植民銀行ハ其本店ヲ母國ニ置クヲ例トシ其海外貿易銀行ニ關シテモ亦然リ唯ニ其東亞ニ關スルモノハ本店ヲ支那ニ置クニ例トシテ佛國ニ於テハ其植民銀行ノ本店ハ植民地ニ在リテ諸植民銀行共同ノ支店ヲ巴里ニ置クヲ例トシ唯ニ印度支那銀行及ヒ定款變更後ノ「アルゼリー」銀行ハ其ニ本店ヲ巴里ニ置ク和蘭ノ瓜哇銀行亦其本店ヲ植民地ニ置クカ如シ

(九)爲替手形ノ流通期限 植民銀行ト雖其營業ノ原則ハ他ノ普通ノ銀行ト異ルモノニアラス植民地ノ取引ハ唯ニ少シク其狀態及ヒ其意義ニ於テ相違アルノミ今爲替手形ニ就テ云ハハ植民地ハ本國ト異リ其距離遠キヲ以テ爲替手形ノ流通期限モ内國ト異リ又爲替手形ノ支拂納豫等モ之ヲ容易ナラシムルノ必要アリ歐洲ニ於ケル爲替手形ノ流通期限ハ長クモ三箇月ナレトモ三箇月期限ハ遠距離ノ植

民地ニ對シテハ餘リニ短キカ故ニ佛國ニテハ植民銀行ノ爲替手形ハ最モ遠キモノ百八十日最モ近キアルゼリーハ百日其他ノ植民地ハ百二十トス獨領東亞弗利加銀行ニテハ爲替手形ハ百八十日間商品擔保貸付ハ百二十日ヲテ獨領西亞弗利加銀行ハ爲替手形擔保貸付共ニ百八十日間ナリ此ノ如キ長期間ノ流通期限ハ各國一般ニ見ル所トス

(二)爲替手形ノ署名 尙植民地取引ノ本國ト異ル點ヲ擧クレハ植民地ニテハ本國ニ於ケルカ如ク二個又ハ三個ノ署名ハ容易ナラサルコト是ナリ蓋植民地ニハ地方銀行ナク從テ其署名ヲ添ヘテ中央銀行ニ送ルコト能ハス取引客ハ遠ク海ヲ踰ヘテ居住シ引受人ヲ得ルコト困難ニ尙知ノ商店ノ數亦少クシテ此等ノ署名ヲ依頼スルコト能ハサレハナリ故ニ此ノ如キ事情ノ下ニ於テハ植民銀行ハ爲替手形ノ署名ハ唯ニ一個ナルモ之ニ満足シ而シテ署名ノ不足ヲ補フニ擔保品ヲ以テスルノ外ナシ假令一個ノ署名ト雖植民銀行ハ其植民地ノ事情ニ精通スルカ故ニ當該地方營業ノ狀態及ヒ爲替支拂人ノ關係ヲ能ク調査シ得ルノ便ナキニアラズ而シテ署名ノ不足ヲ補フヘキ擔保品ハ如何ナルモノカト云フニ通常倉庫證券、貨物引換證及ヒ其附屬證券等送狀曆本、保險證券、原產地證明書等)ニシテ或ハ一種

ノ信用狀ニ依リ海外貿易輸入業者ヨリ植民銀行ニ對シ貨物販賣者ヨリ振出サレタル爲替手形及ヒ之ニ附屬スル諸證券書類カ銀行ニ渡サレタルトキハ或金高マテハ常ニ引受クハシト前以テ通知シ置クモ可ナリ以上ノ外擔保品ハ貴金屬或ハ有價證券ナルコトアリ佛國植民地ニテハ時トシテ未、畑ニ在ル作物ヲ以テスルヲ得ヘク印度支那ニテハ船舶ニテモ尙擔保品ト爲スコトヲ得ヘシ

(二) 抵當貸付 前項ニ述ヘタル所ニ依リ植民地ニ於ケル取引ハ爲替手形ヨリモ漸ク抵當貸付ニ傾クノ狀アルヲ見ルハシ由來經濟的發達尙幼稚ナル土地ニ於テハ抵當貸付盛ニ行ハレ而シテ輸出品ハ植民地ニ於ケル最モ重要ニシテ又最モ好シク通用セララルル擔保品ナリトス此ノ如ク抵當貸付ノ行ハルルハ署名ノ不足ニ原因スルモ又一面植民地ニテハ抵當貸付ハ手形貸付ヨリモ低利ナルカ故ナリ植民地ニアラサル地例ハ歐洲ニテハ手形貸付ハ取扱上便利ナルヲ以テ抵當貸付ニ比シ二分一パーセント若クハ一パーセント低利ナルモ植民地ニ於テハ然ラス金或ハ有望ナル有價證券ハ百パーセント即擔保品ノ價格全額ヲ借入ルルコトヲ得ハシ而シテ銀ニ對シテハ九十六パーセント、商品ニ對シテハ某佛國銀行ハ九十六パーセント、其他ノ同國銀行ハ七十五パーセント迄融通ス尙、植民銀行ハ時トシテ

ハ自己ノ株券ニ對シテモ貸出ヲ爲シ又諸種ノ株券、年金證書、寶石、銅、ニツケル及ヒ其他ノ金屬ニ對シテモ貸出ヲ爲ササルハカラサル場合ニ際會スルコトアルヘク殊ニ輸出品ニ對スル貸付ノ如キハ植民銀行ノ主要ナル取引ヲ形成スルコトアリ而シテ此取引タル比較的危險ニアラサルノミナラス此ノ如ク植民銀行カ諸種ノ貸付ニ盛ニ行フニ至テ始メテ眞面目ニ高利貸ニ對スル政策ヲ講スルニ足ルヘシ勿論此等擔保品ノ價格俄ニ暴落スルコトモアルヘキヲ以テ之ヨリ受クル損失ヲ避ケンカ爲銀行ハ其不足額ニ相當スル支拂ノ追請求ヲ爲シ又ハ補充擔保品ヲ求ムルコトヲ得ル權利ヲ保留スヘシ然レトモ此ノ如キ損害ニ對スル豫防策トシテハ第一自ラ能ク市場ノ形勢及ヒ個人ノ狀態ニ精通シ又ハ臨機適當ナル處置ヲ取リ以テ禍ヲ未然ニ防クノ覺悟ヲ要スルハ勿論ナリ

若官廳、市町村、鐵道、港務所ニ於テ公ノ倉庫ヲ設立シ其監督宜ヲ得タランニハ確實ナル抵當貸付ノ業大ニ興ルナランカ

(三) 不動産抵當貸付 植民地ニハ擔保品乏シク銀行亦多カラサルカ故ニ不動産抵當貸付ハ銀行ノ普通業務トナルノ觀アリ殊ニ小植民地ニ於テ然リトス例ハハ砂糖ノ產地タル佛國植民地ノ銀行カ不動産抵當貸付ヲ營ムカ如キ又瓜哇銀行ニ

於テハ、萬、グ、ル、デ、ン、マ、テ、ハ、不、動、産、抵、當、貸、付、ヲ、爲、ス、コ、ト、ヲ、得、ル、カ、如、シ、其、他、ノ、諸、銀、行、亦、定、款、ニ、明、記、ス、ル、モ、ノ、ト、然、ラ、サ、ル、モ、ノ、ト、ノ、差、ハ、ア、レ、ト、モ、此、種、ノ、貸、付、ヲ、爲、ス、モ、ノ、ア、リ、又、特、ニ、不、動、産、抵、當、貸、付、ノ、業、務、ヲ、行、ハ、シ、ム、ル、カ、爲、ニ、農、業、銀、行、ヲ、設、立、セ、ル、植、民、地、ア、リ、ア、ル、ゼ、リ、農、業、銀、行、及、ヒ、埃、及、農、業、銀、行、ノ、如、キ、即、是、ニ、シ、テ、ア、ル、ゼ、リ、植、民、銀、行、ハ、最、初、自、ラ、此、種、ノ、貸、付、ヲ、營、ミ、シ、モ、夥、多、ノ、損、害、ヲ、蒙、リ、タ、ル、爲、終、ニ、特、別、ノ、農、業、銀、行、設、置、セ、ラ、ル、ル、ニ、至、レ、リ、銀、行、制、度、ノ、具、備、セ、ル、東、印、度、ニ、不、動、産、抵、當、銀、行、ノ、設、置、ヲ、見、サ、ル、ハ、一、大、缺、點、ト、云、フ、ハ、ク、之、ニ、反、シ、テ、佛、國、ノ、小、植、民、地、銀、行、カ、此、種、ノ、貸、付、ヲ、爲、ス、ニ、寬、大、ナ、リ、シ、カ、爲、其、地、方、ノ、砂、糖、製、造、業、ヲ、獎、勵、シ、遂、ニ、大、興、業、的、製、造、所、ニ、發、達、セ、シ、メ、同、時、ニ、自、行、ニ、於、テ、モ、良、好、ナ、ル、擔、保、品、ヲ、有、ス、ル、顧、客、ヲ、増、加、ス、ル、ニ、至、リ、タ、ル、ハ、世、人、ノ、賞、讃、ス、ル、所、ナ、リ、

(二) 收穫物擔保貸付 植民地ニシテ單作即主トシテ一種ノ作物(大豆或ハ米或ハ砂糖或ハ護謨ト云フカ如キ)ヲ收穫スル地ナルトキハ某年ノ收穫物ノ賣却時ヨリ次年ノ收穫物ノ成熟期ニ至ル間ノ資金ノ需要ハ殊ニ大ニシテ普通ノ擔保品ノミヲ以テシテハ不足ヲ告クルヲ常トス而シテ此ノ如キ土地ニ於テ大價格ヲ有スル物上擔保品ハ實ニ其地方ノ收穫物ナリ故ニ植民銀行ハ收穫時ヨリ賣却時マテノ

間倉庫ニ收藏セル收穫物ニ對シテノミナラス其作物ノ尙畝上ニ生長シツツアルモノニ對シテモ貸付ヲ爲スコトアリ此收穫物擔保ノ例ハ殊ニ佛國ノ銀行ニ見ル所ニシテ砂糖產地タル同國ノ植民地アルゼリ、印度支那(米作)等ニ行ハルル所ナリ其方法タル此等植民地ノ農民ハ銀行ニ對シテ自己ノ收穫物ニ對スル權利ヲ讓與シ支拂ニ困難ナル場合ニハ其收穫物ハ銀行ニ於テ適宜處分スルモノトス故ニ農民ハ收穫後直ニ其收穫物ヲ公ノ倉庫ニ送り船積ノトキマテ收藏スルカ或ハ其他ノ適當ナル監料ノ下ニ立ツノ義務ヲ有シ倉庫證券及ヒ貨物引換證ハ追テ銀行ニ提出スハク此クノ如クニシテ收穫物ノ價格ノ三分ノ一ニ相當スル資金ハ作物ノ尙畝中ニ生長シツツアル間ニ融通セララルモノトス或ハ此種ノ擔保ヲシテ一層確實ナルモノヲラシメシメシメシカ爲當ニ其當年ノ收穫物ノミナラス翌年ノ分ヲモ併セテ擔保品ヲラシメ以テ天變地異ノ爲不作ヲ來ス場合ニ備ヘテハ如何ト云フモノアレトモ佛國ノ植民銀行ハ之ヲ許サス而シテ佛國以外ノ諸國ニ於テモ收穫物擔保貸付ノ議論ナキニアラサルモ實際之ヲ行フハ極メテ稀少ニシテ畝上ノ作物ハ單ニ補助擔保品ト見做サルルカ如シ佛國植民銀行ハ曾テ此種ノ擔保品ノ爲非常ノ損失ヲ招キタルコトナキニアラス然レトモ其原因ノ多クハ貸付ノ際慎重ナ

ル調査ヲ忘リタルカ爲ナリ此ノ如ク收穫物擔保ハ危險ノ性質ナキニアラサレトモ而カモ尙一種ノ意義ヲ有スル所以ノモノハ畢竟植民地ニ於ケル高利貸ハ甚喜シテ畝上ニ成長シツツアル作物ヲ擔保トシテ書入レシメ之カ爲住民ノ受クル損害頗大ナレハナリ印度支那ニ於テハ十二パーセントノ利子ヲ以テ此種ノ收穫物ニ對シ貸出ヲ開始セシ以來其前マテ三十六乃至四十八パーセントノ高利ヲ食リタリシ支那人ノ高利貸業大ニ衰ハタリト云フ尙植民銀行ニ關スル學說ヲ見ルニ此種ノ信用制度ヲ歡迎スル所以ハ之ニ由テ以テ高利貸ノ根柢ヲ覆ヘシ且植民地ニ最モ必要ナル農業資金融通ノ道ヲ開クヲ得レハナリ

二四信用組合制度 佛領印度支那ニ於テ畑中ノ作物ニ對シテ貸付ヲ爲スモ猶且比較的安ナル所以ハ同地ニテハ市町村ハ一種ノ強制信用組合ナルカ如キ觀アリテ銀行ノ貸付ニ對シテ責任ヲ負フ例ナレハナリ佛國以外ノ諸國ニ於テモ獨リ此種ノ貸付ニ對シテノミナラス一般ノ貸付ニ對シテ層確實ヲ期センカ爲信用組合ノ制度ヲ設ク該組合ハ資金需用者相集リテ組織スルモノニシテ組合員全體ノ連帶責任ヲ以テ植民銀行ヨリ資金ヲ借入レ之ヲ組合員ニ貸付クルモノトス又之ト相似タル方法トシテ銀行カ直接ニ或者ニ向テ貸付ヲ爲ス場合ニ其保證人トシ

テ支拂能力ヲ有スル或他ノ人又ハ或組合ヲ要求スルコトアリ佛國政府ハアルゼリールニ於テ數百萬フランノ設立補助費ヲ給シテ數多ノ信用組合ヲ興シタルカスハ植民銀行ノ爲ニ有益ナル基礎ヲ形成スルモノニシテ又一種ノ補助機關ト見ルコトヲ得ヘシ此組合ハ組合區ノ貯金ヲ預リ又ハ植民銀行ヨリ資金ノ借入ヲ爲シ之ヲ合セテ組合員ニ貸付クルモノニシテ獨領西南亞弗利加ニモ組織サレ東印度ニモ亦設ケラレントス

二五貨幣制度問題 植民地ニ於テハ特別ナル信用制度特別ナル營業規定ヲ要シ又其土地住民生産輸出等ニ關スル特別ナル状態ニ精通スルノ要アルコトハ上陣ノ如クナルカ尙植民地ノ貨幣制度ニ關スル問題アリ植民地ノ貨幣ハ大抵母國及ヒ其販賣地ト異ルヲ常トシ且屢々流通貨幣ノ不足ヲ告ケ資金需用ノ程度亦高低一ナラス隣接ノ諸外國若クハ販賣地ノ貨幣ハ多ク植民地ニ混用セララルヲ以テ植民銀行ハ諸種ノ硬貨及ヒ紙幣ノ切り換ヲ爲スヲ要シ又自己ノ銀行券若クハ小切手ノ發スルノ要アリ銀行券ヲ發行スル場合ニハ母國ニ於ケルモノヨリモ小額面ノモノタルコトヲ要シ又自他貨幣間ノ相場ノ變動ヲ成ルハク小ニシテ以テ住民ノ便ヲ計ラサルハカラス佛領印度支那銀行ニテハ「フラン」「テール」「ルビー」「ピア

スター等ノ如キ諸種ノ銀行券ヲ發行シテ各方面ノ需要ニ應セントシ獨亞銀行ニ
テハ銀弗及ヒ兩ノ銀行券ヲ發行ス獨領東亞弗利加銀行ハ金ルビ一貨幣制度ヲ有
スルモノナルカ獨逸帝國トノ約定ニ從ヒ銀行券ノ發行及ヒ兌換ノ方法ヲ以テ此
ルビ一ト獨逸本國貨幣トノ均衡ヲ保ツコトヲ要シ獨逸本國亦此目的ノ爲ニ必要
ナル硬貨ヲ供給ス而シテ印度銀行ハ政府ノ補助ニ依リ從來ノ印度銀貨ト金及ヒ
英國貨幣トノ正確ナル均衡ヲ保ツコトヲ得タリ尙貨幣政策上ヨリ見ルトキハ金
銀產地ニ於ケル金銀ノ賣買ニ關シテハ殊ニ注意ヲ要シ佛領グイヤナニ於ケル植
民銀行ハ同地ノ鑛山ニ特別ノ金賣買所ヲ設ケ直接ニ其賣買ノ爲シ以テ貪欲ナル
仲買人ノ弊害ヲ除カントセリ此ノ如キハ金產地ニ於ケル植民銀行ノ慎重ナル處
置ト云フハシ

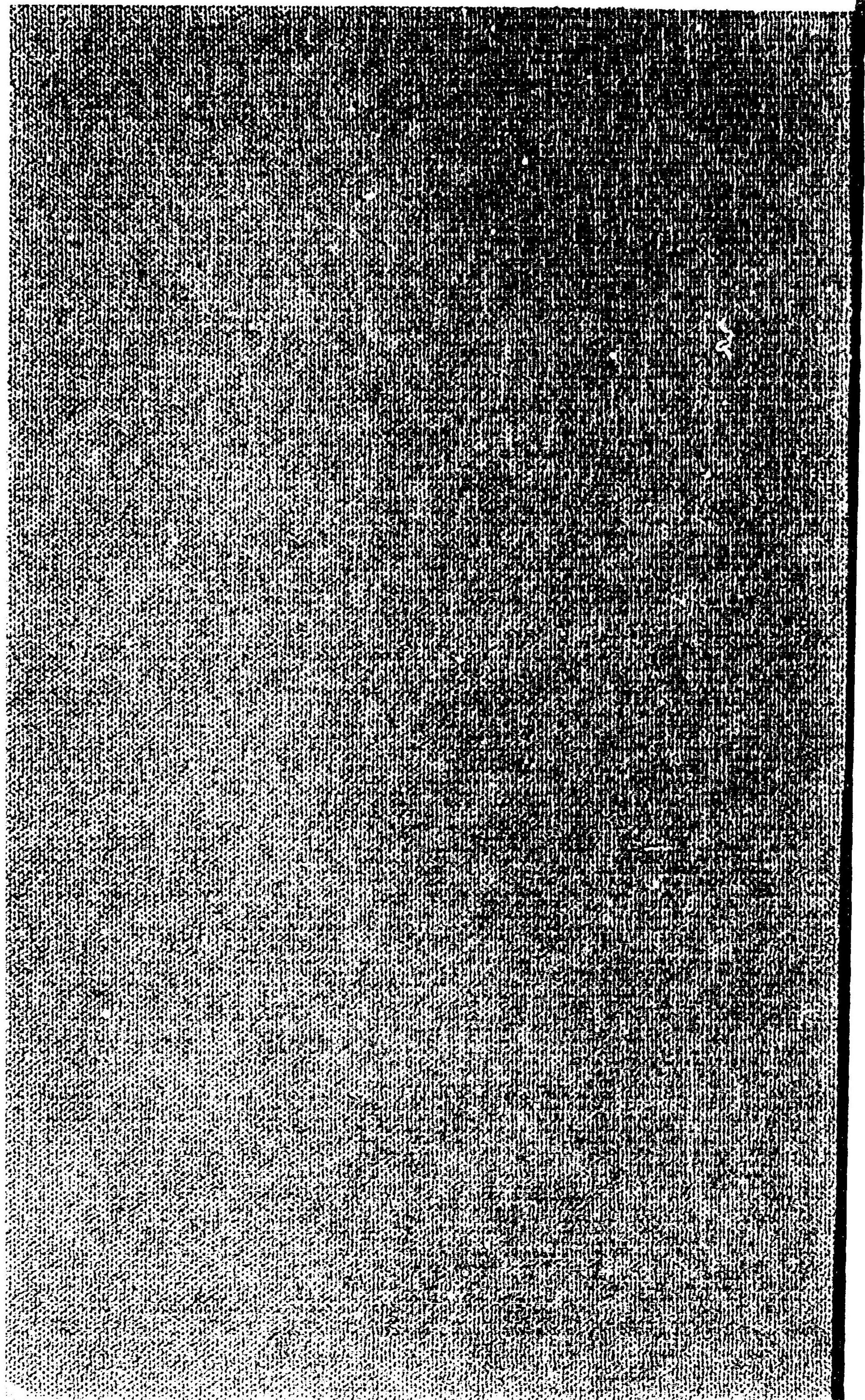
二六母國トノ關係 植民銀行ハ又常ニ母國トノ關係ニ注意シ爲替手形ノ支拂能
力、低利割引及ヒ支拂ノ均衡ヲ計リ又常ニ母國ニ於ケル金融市場ニ注目シテ好機
會ヲ捉ヘ以テ植民地ノ新起業ニ向テ低廉ニシテ且充分ナル資金ノ輸入ヲ企ツハ
シ此ク列舉シ來レハ植民地ト母國トノ間往々其利害ノ相衝突スルモノアリ例ハ
ハ母國ニテハ貨幣ヲ保留セントスルニ反シ植民地ハ之ヲ輸入セントシ母國ニテ

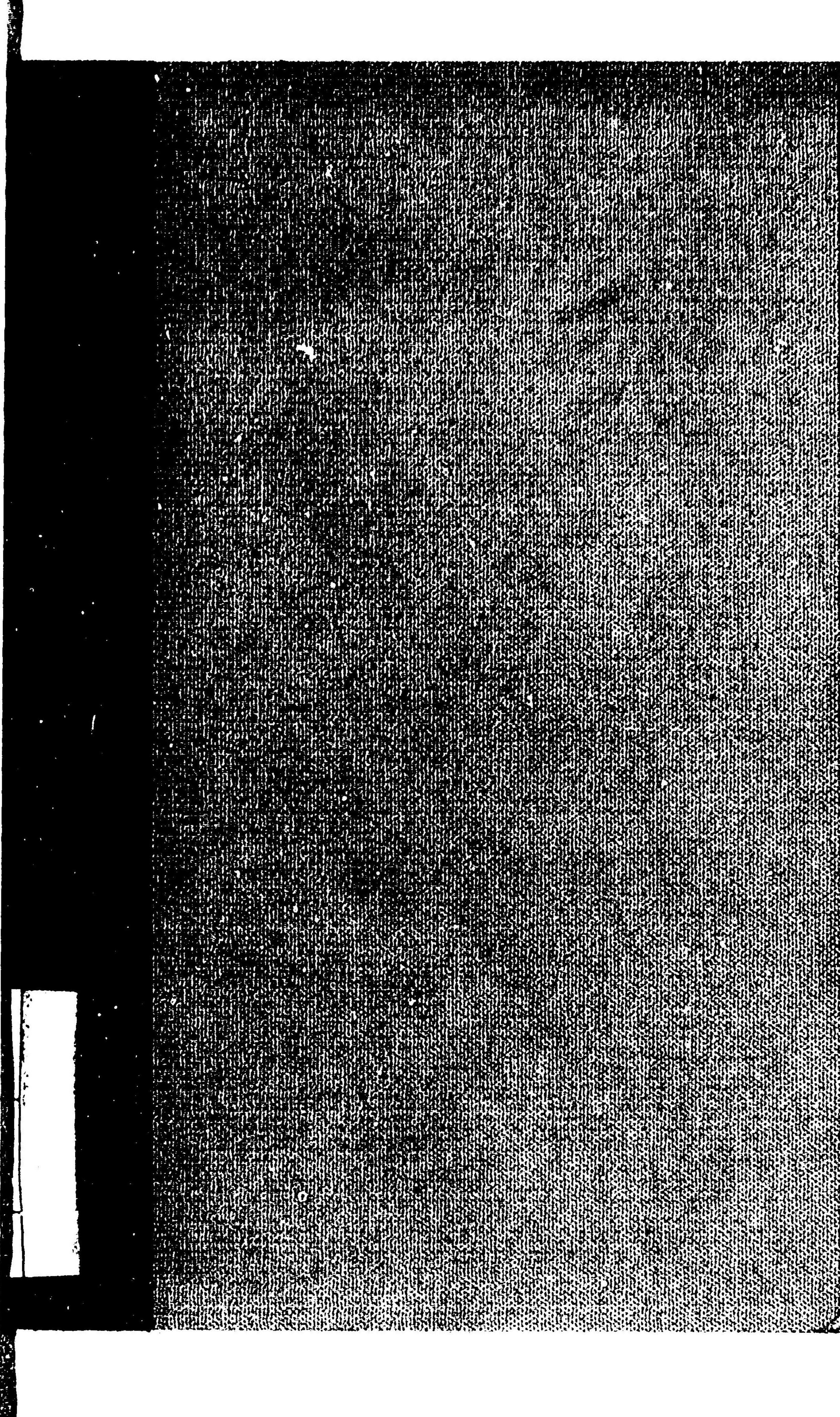
ハ植民地ノ貸付利息及ヒ爲替歩合ノ高率ナルヲ欲シ植民地ハ其低率ナラント
ヲ希フカ如シ植民銀行ニ關スル法律及ヒ政策亦母國銀行ニ關スルモノト同シカ
ラス植民銀行ニ關スル政策トシテハ植民地ヲシテ所有方面ニ向テ其國際的關係
ヲ發展セシメントスルニ反シ母國銀行ノ支店ハ母國ノ利害關係ニ依リ植民地ヲ
束縛セントスルカ故ニ植民地ノ發達ハ一方面ニ傾キ或ハ妨害セララルニ至ル此
點亦母國銀行支店設置制度ヨリハ植民地ニ特殊銀行ヲ設立スルコト植民地ノ利
害ヨリ見テ以テ優レリトスル所以ナリトス

二七國家ノ出納所トシテノ植民銀行 銀行ニ於ケル出入貨幣相殺ノ業務ハ其國
家ノ出納所タルニ於テ一層増加ス植民銀行亦之ニ同シク各國孰モ植民銀行ハ植
民地政府ノ金錢出納ヲ掌ルヲ例トス即政府ハ其支拂ヲ爲スニ銀行ヲ經ルノミナ
ラス政府ノ收入亦之ヲ銀行ニ預ケ入ル此點ヨリ見レハ植民官廳ノ充分ノ監督ア
ル特殊植民銀行ハ最モ植民地ニ適合スト云フハシ

二八結論 上來説述セル所ノ綜合スレハ銀行制度、營業狀態、利子關係、出納事務等
植民地ニ於テハ一種特別ノ性質ヲ有スルカ故ニ其最モ植民地ニ適合スルモノハ
特殊植民銀行ナラサルハカラス母國銀行ハ其利害關係ノ中心決シテ植民地ニ存

セス且其取引ニ關シテハ變通自在ナラサル規定ニ束縛セラルルカ故ニ各地ノ支店ノ顧客ニ對シテ各相異ル種々ノ原則及ヒ條件ヲ以テ取引ヲ爲シ又ハ高利率ヲ要求スル等ノ非難ヲ受クルヲ好マス從テ臨機應變ノ處理ヲ要シ又高利率ヲ要求スルコトヲ得ル植民銀行ノ性質トハ相異ル所アルヲ以テ植民地ニハ不適當ナリ吾人ノ此論議ハ歐洲各國ノ植民地若クハ勢力範圍地ノ狀態ヲ調査シ又此等地方ニ於ケル銀行ノ經驗ヲ基礎トシタルノミナラス廣ク該問題ニ關スル經濟學書ニ據テ立論セシモノナリ但吾人ノ此見解カ果シテ滿洲ニ應用スルコトヲ得ルヤ否ヤ若シ應用スルコトヲ得トセハ如何ナル程度ノモノナルヤ否ヤ等ノ實地的問題ニ就テハ一ニ當局者ノ判斷ニ任セントス





33869

M494

植民地に於ける特殊
銀行に就ての研究

国立国会図書館

041124-000-5

338.69-M494s

植民地ニ於ケル特殊銀行ニ就テノ研究

南満洲鉄道株式会社東亜経済調査

M43

BDF-0283



